

子宮頸がん (HPV) ワクチン

キャッチアップ接種は令和7年3月31日までです

子宮頸がん (HPV) ワクチンのキャッチアップ接種期限が4カ月を切りました。接種期限を過ぎると任意接種となり、自己負担となります。接種を検討されている方はお早めに接種をお願いします。

【接種対象者】 平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女子

【実施医療機関】 吉野川市内の指定医療機関および徳島県予防接種広域化医療機関

【費用】 無料

※対象者には令和4年度末に予診票をお送りしています。紛失や転入で予診票がない方や県外で接種を検討されている方は健康推進課へ問い合わせください。



●問い合わせ 健康推進課 ☎22-2268 FAX22-2245

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方へ

風しん抗体検査・予防接種クーポン券の有効期限は令和7年2月末までです

過去に公的に予防接種を受ける機会がなかった世代の男性に対し、令和5年5月末にクーポン券を送付しています。今後の風しん流行を防止するために、対象の方は、まず抗体検査の受検に協力をお願いします。

【対象者】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性

【受け方】 ①職場での定期健康診断や特定健診当日、またはかかりつけ医などにクーポン券と抗体検査受診票 (A4)、本人確認書類 (健康保険証など) を持参して、抗体検査を受ける。

②抗体検査の結果、十分な量の抗体がないと判明した方は、予防接種を受ける。

【有効期限】 令和7年2月末まで (必ずクーポン券を持参してください)

【費用】 無料

※令和5年4月1日以降に転入された方やクーポン券を紛失された方は、健康推進課に問い合わせください。



●問い合わせ 健康推進課 ☎22-2268 FAX22-2245

妊娠・出産・子育ての相談

こども家庭センターでは、妊娠・出産・子育てなどについて保健師・助産師による相談を実施していますので、気軽に相談してください。保健師相談は随時受付を行っています。助産師相談は予約制です。事前に連絡してください。



◆助産師相談

〈対象者〉 妊産婦および乳幼児とその保護者

1月	6日(月)	16日(木)	20日(月)	30日(木)
2月	3日(月)	10日(月)	20日(木)	27日(木)
3月	6日(木)	10日(月)	17日(月)	24日(月)

※日程は変更となる場合があります。

〈時間〉 ①午前9時 ②午前10時 ③午前11時 ④午後1時 ⑤午後2時 ⑥午後3時

〈実施場所〉 こども家庭センター (市役所本館1階)

〈内容〉 ○妊娠期の生活について ○出産や産後に向けての準備
○乳幼児の身体計測 ○授乳方法の指導 ○骨盤ケア (妊娠中・産後) など
※希望者には、個別のマタニティ教室を行っています。

〈費用〉 無料

●問い合わせ・予約先 こども家庭センター(本館1階13番窓口)
☎22-2267 FAX22-2245

第100回離乳食の与え方?

おしえて!! 歯医者さん

質問 離乳食を与えるときに、食器を共有しない・嘔み与えをしない方が、子どもの歯の健康に良いと聞いていました。ところが、結果的にアトピーや花粉症になりやすくなるなどの話も聞きました。実際のところ、どうすれば良いのでしょうか?

回答 むし歯に限らず、我が子が健やかに育ってほしいと願うのは、すべての親に共通する心情だと思います。

質問の、食器を共有しない・嘔み与えをしないようにというのは、家族からの細菌の移行をできるだけ防ぐ観点から、指導されてきました。

むし歯や歯周病は細菌が原因となつて生じる細菌感染症です。原因となる細菌感染をなるべく少なく抑えることが望ましいのです。そして、口腔内細菌叢と呼ばれるお口の中の細菌の種類、その構成は、5歳くらいまでに、ほぼ定着することがわかっています。

同時に、近年、特に先進国でアレルギー疾患が増加しており、その原因の一つとして、清潔過ぎるライフスタイルが挙げられています。

【吉野川市歯科医師会】
第100回を迎え、本連載は今回で終了となります。長きにわたりご愛読いただき、心より感謝申し上げます。

極端な清潔志向、過ぎたるは、なお、及ばざるがごとしです。むし歯を予防するには、各種フッ化物の利用や食生活の管理が最も有効です。また、両親や祖父母など家族が定期健診を受け、お口の中を管理しておくことも大切です。

詳しくは、かかりつけの歯科医院まで、ご相談ください。

スウェーデンの研究で、親の唾液を与えられた新生児は、生後18カ月で喘息が約9割、アトピー性皮膚炎が約6割、減少したと報告されています。

日本の複数の研究でも、乳児期に嘔み与えをするなど親の唾液と接触があった場合、学齢期にアトピー性皮膚炎とアレルギー性鼻炎の発症リスクが有意に低下したと報告されています。喘息については発症リスク低下の可能性が示されています。

お口の質問について(窓口)
市長公室 FAX 22-2244 メールアドレス m-koushitsu@yoshinogawa.i-tokushima.jp